科目名	両眼視機能学特論	分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位

担当教員	◎教授　臼井千惠					科目ナンバー	T1C201
課程	博士後期	配当年次	1～2年	配当学期	通年	授業方法	講義

授業の概要	①両眼視単一視の成立機序と生理的および病的状態を理解し、両眼視機能異常の病態について眼位との関連性を考察する。 ②両眼視異常に対する視能矯正に必要な検査法および治療法について考察する。
授業の到達目標	①斜視に伴う両眼視機能異常への視能検査、視能矯正の実施計画を立て、検査および矯正効果を評価することができる。 ②斜視に伴う両眼視機能異常の治療として眼鏡、プリズム眼鏡、斜視視能矯正訓練などによる非観血的治療を実践できるようにし、それらが日常視下における両眼視機能の発揮に及ぼす効果と限界を説明することができる。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	臼井　千惠　教　授	両眼単一視の発生機序（腹側経路・背側経路）、生理的特性について説明することができる。 両眼視野について理解し、両眼視機能成立の条件について説明することができる。
2	臼井　千惠　教　授	両眼視機能の3要素である同時視、融像、立体視について説明できる。 同時視、融像、立体視の検査法とその評価について説明することができる。
3	臼井　千惠　教　授	両眼視機能異常の病態について説明することができる。 実際空間と視空間の概念を説明することができる。
4	臼井　千惠　教　授	網膜対応について説明することができる。 網膜対応検査の原理、実際の方法、結果の評価法について説明することができる。
5	臼井　千惠　教　授	共同性斜視と非共同性斜視の両眼視機能の違いについて説明することができる。
6	臼井　千惠　教　授	斜視と屈折異常との関係、斜視への屈折矯正の適応と限界について説明することができる。
7	臼井　千惠　教　授	斜視へのプリズム矯正の適応と限界について説明することができる。
8	臼井　千惠　教　授	共同性斜視への視能矯正訓練の適応と限界について説明することができる。
9	臼井　千惠　教　授	非共同性斜視への視能矯正訓練の適応と限界について説明することができる。
10	臼井　千惠　教　授	内斜視の両眼視機能と光学的矯正方法について説明することができる。
11	臼井　千惠　教　授	外斜視の両眼視機能と光学的矯正方法について説明することができる。
12	臼井　千惠　教　授	先天眼球運動障害の両眼視機能と光学的矯正方法について説明することができる。
13	臼井　千惠　教　授	後天眼球運動障害の両眼視機能と光学的矯正方法について説明することができる。
14	臼井　千惠　教　授	斜視の両眼視機能改善を目的とした 観血的治療、非観血的治療について概説することができる。
15	臼井　千惠　教　授	講義の振り返りと習熟度確認

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し復習しておく。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子：「視能学」第2版　文光堂 シリーズ監修　公益社団法人日本視能訓練士協会：視能学エキスパート「視能訓練学」 医学書院 von Noorden GK, Campos EC：Binocular Vision and Ocular Motility. Theory and Management of Strabismus,6th ed. Mosby（無料電子版を活用）
参考書	弓削経一編：「視能矯正―理論と実際―」増補版第3版　金山出版（絶版のため関連部分をコピーして使用する） 丸尾敏夫編：眼科Mook10「斜視・弱視」 金原出版（絶版のため該当部分をコピーして使用する） 丸尾俊夫編：視能矯正学　金原出版（絶版のため関連部分をコピーして使用する）
成績評価の方法および基準	レポート50％、口頭試問50％ 欠席は1回につき5点減点する。
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップDP2を参照し理解すること。